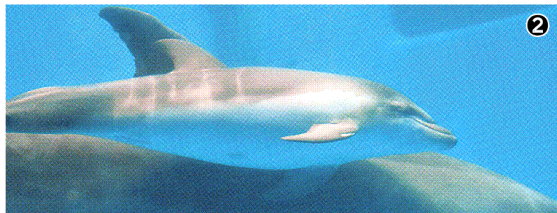


1



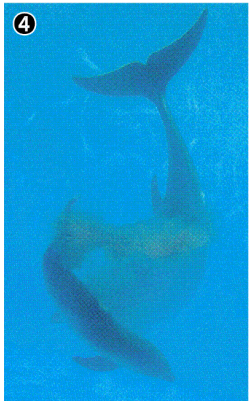
2



3



4



①だっこ泳ぎをするハンドウイルカの親子②だっこ泳ぎされながら眠る赤ちゃん③おっぱいを飲む赤ちゃん④赤ちゃんイルカの誕生の瞬間



水族館のハンドウイルカは私たち人間と同じほ乳類です。お母さんイルカは、赤ちゃんを母乳で育てます。「だっこ泳ぎ」もできます。人間は腕で赤ちゃんをだっこしますね。腕がないイルカはどうするのでしょうか。

イルカの赤ちゃんは水中で生まれ、すぐに自分で泳ぎ出します。慣れて落ちていくと、お母さんの背びれの横あたりにぴったりついて泳ぐようになります。

この位置にいと、お母さんが泳ぐ時にできる水の流れのおかげで、赤ちゃんは力を使わなくても泳ぐことができるのです。お母さんがど

だっこ泳ぎ 母子がぴったり寄り添う

ななに早く泳いでも、尾びれをほとんど動かさずに同じスピードでついて行けます。これが「だっこ泳ぎ」です。

赤ちゃんがふらつと離れて泳いでいくとすぐにお母さんは追いかけ、そばにつけるような動きをします。その姿はまるで「そっちに行つてはだめよ」と言いながら子どもを抱きかかえる人間のお母さんのようです。

お母さんイルカの背びれの横にいる赤ちゃんを観察してみましよう。目を閉じていることがあります。どうやら眠っているようです。だっこ泳ぎは赤ちゃんにとって安心できる居心地のよい空間をつくり出しているのでしょうか。

だっこしたり、おっぱいをあげたり。イルカも人間と同じように、幸せをいっぱい感じながら、子育ての大変さも味わっているのかもしれない。

(展示課海獣展示係・柏木伸幸)